



城北小だより

5月号

さいたま市立城北小学校 令和4年4月28日

児童数 713名

048-757-5391 発行者 中村 篤

「あいさつ」があふれる学校へ

校長 中村 篤

新緑の候、保護者、地域の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動へご理解・ご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

校庭の桜は葉桜となり、正門を入ったところにある藤棚に咲いた藤の花が満開となりました。藤の花の蜜を求めて、ずんぐりむっくりとした、胸の黄色い、大きな黒いハチが飛んでいます。このハチの正体はクマバチです。見た目は怖いですが、とてもおとなしい性格なので、こちらから手を出さなければ危険はありません。石を投げたり、追い払ったりしないで、そっと見守ってあげてください。



さて、先日の授業参観・懇談会にはたくさんのご参加をいただき、大変ありがとうございました。保護者の皆様と担任が今年度の見通しについてお話ができたことは、今後の本校の教育活動推進へのご理解・ご支援につながるものであると思います。また、役員を引き受けてくださった皆様には、大変お世話になります。何かお気づきの点などがございましたら、遠慮なくご意見をいただくと幸いです。

話は変わりますが、先日、地域の方からこんなお話を頂きました。「下校中の児童に『おかえり』と声を掛けたら、返事が返ってこなかった」というのです。おそらく、子どもたちは何と応えたらよいのかわからなかったのではないのか、という推論に至りました。その方は「今度は、『こんにちは』と声を掛けてみます」とおっしゃっていました。私も毎朝正門前であいさつをしています。元気よく「おはようございます」とあいさつしてくれる子どもが増えてきており、とてもうれしく思います。しかし、目も合わせてくれず、通り過ぎるだけの子どもが少なくないのも事実です。

本校の学校教育目標の二つ目には「思いやりのある子」があります。この目標について、始業式で子どもたちに、「まずは、明るくあいさつをしましょう。元気に明るくあいさつをすると、もっとお友達と仲良くすることができます」と話をしました。また、入学式では新入生に「三つのお願い」の一つとして、「元気よくあいさつをしましょう」とお願いしました。本校は地域の方々に登下校の子どもたちを見守っていただいております。その中で地域の方々は積極的にあいさつをしてくださっています。今後、児童会の子もたちによるあいさつ運動も始まります。それぞれのご家庭でも、「あいさつ」を見直して、ご家族、地域ぐるみで、明るく元気な「あいさつ」を励行していきましょう。城北小学校が「あいさつ」あふれる学校となれるよう、なにとぞご理解・ご協力をお願いいたします。